

平成22年3月期 第2四半期決算短信(非連結)

平成21年10月30日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社 東祥

コード番号 8920 URL <http://www.to-sho.net/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 沢名 俊裕

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 桑添 直哉

四半期報告書提出予定日 平成21年11月5日

配当支払開始予定日

TEL 0566-79-3111

平成21年12月8日

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	5,273	△5.4	1,104	1.8	954	1.3	539	5.3
21年3月期第2四半期	5,575	—	1,084	—	943	—	512	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	32.54	—
21年3月期第2四半期	31.13	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
22年3月期第2四半期	百万円 24,906	百万円 5,504	% 22.1	円 銭 331.75
21年3月期	百万円 26,191	百万円 5,047	% 19.3	円 銭 304.20

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 5,504百万円 21年3月期 5,047百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
21年3月期	円 銭 —	円 銭 5.00	円 銭 —	円 銭 5.00	円 銭 10.00
22年3月期	円 銭 —	円 銭 5.00	円 銭 —	円 銭 5.00	円 銭 10.00
22年3月期 (予想)	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 5.00	円 銭 10.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
通期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,500	5.5	2,630	17.5	2,300	17.7	1,200	10.3	72.38

(注)業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧下さい。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無
② ①以外の変更 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第2四半期	16,592,351株	21年3月期	16,592,351株
② 期末自己株式数	22年3月期第2四半期	1,539株	21年3月期	1,335株
③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	22年3月期第2四半期	16,590,932株	21年3月期第2四半期	16,528,122株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成22年3月期の業績予想は、「平成21年3月期 決算短信(非連結)」(平成21年5月11日付)において公表した金額より変更しておりません。

2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、4ページ【定性的情報・財務諸表等】「3. 業績予想に関する定性的情報」をご覧下さい。

定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、企業の生産活動においては一部緩やかに持ち直してはいるものの、国内、海外における需要の減少、円高の進行等を受け、雇用情勢は悪化しており、景況感についても下げ止まりの動きが見られるものの政権交代等依然先行き感は不透明な状況で推移しております。

こうした経済状況のもとで、スポーツクラブ事業においては、個人消費の動向は弱い動きとなっているものの、消費者の『健康』に対する意識は底堅く推移しており、既存店舗での第2四半期末での会員数は前年同時期対比1.7%の減少にとどまりました。収益面においては、お客様サービスの充実に努め、収益確保のためコスト意識を高め経費削減に努めました。

また、スポーツクラブ事業においては、当第2四半期累計期間には新たな出店はなかったものの、平成21年10月1日には「ホリデイスポーツクラブ長野」が開業いたしました。

ホテル事業においては、朝夕食の無料サービスの充実、一部ホテルにおいては、顧客層を広げるためツインルームへの改装を平成21年7月に実施したものの、企業の出張費削減傾向の影響もあり稼働率は前年同四半期を下回りました。

不動産事業におきましては、賃貸マンション「A・City」が2棟竣工したものの、前期に請負事業を廃止したことにより売上高は前年同四半期を下回りました。

この結果、当第2四半期累計期間の売上高は5,273百万円（前年同四半期比5.4%減）、営業利益1,104百万円（同1.8%増）、経常利益954百万円（同1.3%増）、四半期純利益539百万円（同5.3%増）となりました。

利益率におきましては、コスト削減の効果もあり営業利益率20.9%（同1.4ポイント増）、経常利益率18.1%（同1.2ポイント増）、四半期純利益率10.2%（同1.0ポイント増）となりました。

なお、事業別の業績は次のとおりであります。

(1) スポーツクラブ事業

スポーツクラブ事業におきましては、既存店舗での会員数の減少はあったものの、前期に開業した3店舗の増収効果により、売上高は4,095百万円（前年同四半期比0.9%増）となりました。

(2) ホテル事業

ホテル事業におきましては、企業の出張旅費削減の傾向が強く見られ、また、平成21年7月には、顧客層としてビジネスマンだけではなく、ファミリー層を取り込むため「A Bホテル三河安城本館」の客室リニューアル期間に営業を中止したことにより、売上高は364百万円（同29.8%減）となりました。

(3) 不動産事業

不動産事業におきましては、賃貸マンション「A・City」が2棟竣工、賃貸マンションの販売が1棟あつたものの、前期に請負事業を廃止した影響もあり、売上高は813百万円（同18.3%減）となりました。

第2四半期累計期間の事業別売上高は次のとおりであります。

(単位：百万円)

	当第2四半期	前第2四半期	増減額	増減比 (%)
スポーツクラブ事業	4,095	4,060	34	0.9
ホテル事業	364	519	△154	△29.8
不動産事業	813	995	△182	△18.3
売上高合計	5,273	5,575	△302	△5.4

2. 財政状態に関する定性的情報

(1) 財政状態

当第2四半期末の総資産は24,906百万円となり、前事業年度末と比較し1,285百万円減少いたしました。

主な要因は、現預金の減少1,156百万円、スポーツクラブの会費の徴収方法変更による売上債権416百万円の増加、売却による土地の減少270百万円、減価償却累計額605百万円の増加によるものであります。

負債総額は19,401百万円であり、前事業年度末と比較し1,742百万円減少いたしました。

主な要因は、未払消費税の減少178百万円、社債の減少160百万円、長期借入金の減少1,463百万円によるものであります。

純資産総額は5,504百万円となり、前事業年度末と比較し456百万円増加いたしました。

主な要因は、利益剰余金の増加によるものであり、自己資本比率は前事業年度末と比較し2.8ポイント増の22.1%となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における当社のキャッシュ・フローにつきましては、営業活動における収入が671百万円あつた一方、投資活動による支出が26百万円、財務活動による支出が1,708百万円あつた結果、現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、1,062百万円減少し641百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は671百万円となりました。これは主に税引前四半期純利益953百万円、減価償却費が642百万円あつた一方、売上債権の増加が416百万円、法人税等の支払が461百万円あつたためであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は26百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出が354百万円あつた一方、有形固定資産の売却による収入が252百万円、定期預金の払戻による収入が100百万円あつたためであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は1,708百万円となりました。これは主に長期借入金の返済による支出が1,874百万円あつたためであります。

3. 業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期業績予想につきましては、予想値と比較し、第2四半期累計期間の売上高で△7.3%、四半期純利益で△3.8%となっておりますが、現在のスポーツクラブの会員数の推移、ホテルの稼働状況及びコストの改善、削減効果等を総合的に勘案し、平成21年5月11日に公表いたしました業績予想を変更しておりません。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

固定資産の減価償却の方法

定率法を採用している固定資産につきましては、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算出する方法によっております。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期財務諸表
(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成21年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流动資産		
現金及び預金	660,461	1,817,438
売掛金	18,384	21,932
営業未収入金	476,375	56,356
商品	568	819
貯蔵品	12,416	11,644
繰延税金資産	65,240	78,848
その他	199,877	240,391
貸倒引当金	△520	△120
流动資産合計	1,432,804	2,227,310
固定資産		
有形固定資産		
建物	21,053,918	20,745,172
減価償却累計額	△4,836,127	△4,348,427
建物(純額)	16,217,791	16,396,745
構築物	1,454,190	1,443,540
減価償却累計額	△740,848	△673,491
構築物(純額)	713,341	770,048
機械及び装置	311,525	302,070
減価償却累計額	△120,421	△100,291
機械及び装置(純額)	191,104	201,778
車両運搬具	35,173	41,274
減価償却累計額	△15,140	△21,329
車両運搬具(純額)	20,033	19,944
工具、器具及び備品	507,603	505,744
減価償却累計額	△321,425	△284,707
工具、器具及び備品(純額)	186,178	221,036
土地	3,336,290	3,606,407
リース資産	147,372	98,392
減価償却累計額	△19,513	△4,325
リース資産(純額)	127,859	94,066
建設仮勘定	525,782	485,871
有形固定資産合計	21,318,382	21,795,899
無形固定資産	32,378	31,603
投資その他の資産		
敷金及び保証金	1,138,525	1,133,797
繰延税金資産	343,520	333,731
その他	613,992	639,111
貸倒引当金	△5,390	△5,410
投資その他の資産合計	2,090,648	2,101,229
固定資産合計	23,441,408	23,928,732
繰延資産		
社債発行費	31,880	35,489
繰延資産合計	31,880	35,489
資産合計	24,906,093	26,191,533

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成21年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,465	3,221
短期借入金	2,761,100	2,650,150
1年内償還予定の社債	320,000	320,000
1年内返済予定の長期借入金	3,591,682	3,594,184
リース債務	30,920	17,603
未払法人税等	419,018	470,512
その他	681,703	985,366
流動負債合計	7,807,889	8,041,037
固定負債		
社債	1,120,000	1,280,000
長期借入金	9,257,176	10,720,998
リース債務	98,326	76,721
役員退職慰労引当金	673,720	653,580
その他	444,062	371,264
固定負債合計	11,593,285	13,102,563
負債合計	19,401,174	21,143,600
純資産の部		
株主資本		
資本金	241,714	241,714
資本剰余金	105,064	105,064
利益剰余金	5,158,250	4,701,218
自己株式	△978	△860
株主資本合計	5,504,049	5,047,136
新株予約権	868	796
純資産合計	5,504,918	5,047,932
負債純資産合計	24,906,093	26,191,533

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
売上高	5,575,514	5,273,222
売上原価	4,024,164	3,711,064
売上総利益	1,551,350	1,562,158
販売費及び一般管理費		
役員報酬	116,445	118,110
給料	52,905	40,045
支払手数料	83,032	84,338
その他	214,251	215,603
販売費及び一般管理費合計	466,634	458,097
営業利益	1,084,715	1,104,060
営業外収益		
受取利息及び配当金	3,947	3,771
受取手数料	49,569	63,448
雑収入	25,644	24,638
営業外収益合計	79,161	91,858
営業外費用		
支払利息	193,831	167,377
雑損失	26,984	73,619
営業外費用合計	220,815	240,996
経常利益	943,060	954,922
特別利益		
固定資産売却益	—	4,228
ゴルフ会員権売却益	95	—
貸倒引当金戻入額	670	20
特別利益合計	765	4,248
特別損失		
固定資産売却損	—	4,207
固定資産除却損	64,506	38
ゴルフ会員権売却損	2,705	959
特別損失合計	67,212	5,205
税引前四半期純利益	876,613	953,965
法人税、住民税及び事業税	370,452	410,159
法人税等調整額	△6,464	3,818
法人税等合計	363,987	413,978
四半期純利益	512,626	539,986

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	876,613	953,965
減価償却費	635,253	642,399
ゴルフ会員権売却損益（△は益）	2,610	959
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△670	380
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	21,000	20,140
受取利息及び受取配当金	△3,947	△3,771
支払利息	193,901	167,377
社債発行費償却	—	3,609
有形固定資産売却損益（△は益）	—	△20
有形固定資産除却損	64,506	38
売上債権の増減額（△は増加）	129,174	△416,470
たな卸資産の増減額（△は増加）	58,791	△521
仕入債務の増減額（△は減少）	△170,092	244
未払又は未収消費税等の増減額	119,845	△178,462
その他の資産の増減額（△は増加）	62,017	120,001
その他の負債の増減額（△は減少）	△216,370	△5,558
その他	144	72
小計	1,772,778	1,304,382
利息及び配当金の受取額	1,077	1,196
利息の支払額	△199,182	△172,364
法人税等の支払額	△358,509	△461,524
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,216,163	671,689
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△105,000	△6,018
定期預金の払戻による収入	55,191	100,000
有形固定資産の取得による支出	△1,250,152	△354,141
有形固定資産の売却による収入	—	252,323
ゴルフ会員権の取得による支出	△7,000	—
ゴルフ会員権の売却による収入	12,314	2,380
貸付金の回収による収入	9,778	581
差入保証金の差入による支出	△17,943	△12,967
保険積立金の解約による収入	14,180	—
その他	△17,891	△8,800
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,306,522	△26,641
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△192,996	110,950
長期借入れによる収入	2,233,000	408,150
長期借入金の返済による支出	△1,740,825	△1,874,473
社債の償還による支出	—	△160,000
自己株式の取得による支出	△246	△117
配当金の支払額	△196,904	△82,955
設備関係割賦債務の返済による支出	△154,013	△95,539
リース債務の返済による支出	—	△14,056
財務活動によるキャッシュ・フロー	△51,986	△1,708,043
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△142,345	△1,062,994
現金及び現金同等物の期首残高	900,849	1,704,438
現金及び現金同等物の四半期末残高	758,504	641,443

(4) 繼続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

該当事項はありません。